

北陸情報通信協議会 イノベーション部会が IOT 見学会を開く

北陸情報通信協議会のイノベーション部会では、令和2年度の活動計画に基づき、令和2年10月28日（水）、コロナ禍の状況を踏まえオンラインによる IOT 見学会を開催し、17名が参加しました。

今回の見学会は、北陸情報通信協議会の会員企業である株式会社ハイレゾの全面的なご協力のもと、同社が志賀町の能登中核工業団地に開設している「志賀町GPU※専用第1データセンター」（石川県羽咋郡志賀町若葉台13-2）で稼働しているサーバーなどの設備や同データセンターでの業務内容をオンラインで配信する方法で実施しました。

※GPU

「Graphics Processing Unit」の略。
3Dグラフィックスなどの画像描写を行う際に必要となる計算処理を行う半導体チップ（プロセッサ）を指す。



稼働中のサーバーを見学する丹 康雄 イノベーション部会長（写真右）と説明する株式会社ハイレゾの代表取締役 志倉 喜幸 氏（写真左）



見学終了後の意見交換の様子

データセンターの見学では、代表取締役 志倉 喜幸 氏から稼働中のサーバーについて説明を受けるとともに、データセンターの空調について、「エアコンを使わない「外気空冷」により空調電力を大幅に削減している。」とその特徴の説明がありました。

また、サーバーは自社で組み立てを行っていることから、データセンターでの作業内容について見学するとともに、グラフィックボードの修理についての説明を受けました。

見学終了後、GPU専用データセンターを運用する上での課題や今後の展開などについて意見交換を行いました。